

声についての発表メモ

- (1) 研究の動機
- (2) 家族の声の観察
- (3) 声の性質についてのいろいろな表現
- (4) 感情を伴った声のいろいろ

(簡条書きの番号と本文の内容とを区別できる書き方の例)

□□ ≡ ≡ ≡ □□ タマネギワ □ クシガタニ ≡ ≡ □ ニンジンワ □  
 イチョウガタニ □ キル ≡ ≡  
 □□ ≡ ≡ ≡ □□ ギューニクワ □ ヒトクチダイノ □ タベヤスイ □  
 オオキサニ □ キル ≡ ≡  
 □□ ≡ ≡ ≡ □□ ≡ ≡ ≡ □ ≡ ≡ ≡ □ ヲ □ アブラヲ □ ヒイタ □  
 フライパンデ □ テイネイニ □ イタメル ≡ ≡

- (1) タマネギはくし形に、ニンジンはイチョウ形に切る。
- (2) 牛肉は一口大の食べやすい大きさに切る。
- (3) (1)(2)を、油をひいたフライパンで丁寧に炒める。

◇この例では、簡条書きの番号を示す「(3)」と、本文の内容に含まれる番号「(1)(2)」とを区別できるように簡条書きの番号のあと二マスあけている。

## 第4節 文の種類による書き方の学習

### 1 作文一般

作文の題は、1行目に書く。題の書き出しは、5マス目、または7マス目からにすることが多い。なお、題が2行以上にわたる場合には、2行目以降を1行目の書き始めから、さらに二マス下げて書く。

名前は、題を書いた次の行に右寄せで書くか、行末が一マスか二マスあくようにして書く。作文以外にも行末に名前を書く機会が多く、自分の名前のマス数を数えておき、どのあたりから書けばよいか覚えておくとよい。

本文は、名前を書いた次の行の行頭3マス目から書き始める。段落の変わり目では行替えをし、3マス目から書き始める。

ページは、点字用紙の表の右上に書く。32 マス点字盤であれば、紙押さえにページを入れるマスがある。

## 2 詩

詩は3マス目から書き始めるのを原則とする。詩の題は見出しの書き方に準じて書き、作者名は行末近くに書く。

行や連によって、書き出し位置に変化をつける場合は、二マス又は四マスを単位として差をつけて書き表す。詩の1行が点字で2行にわたるときには、2行目は書き始めの行と二マスを単位として差をつけて書き続ける。

詩行符類は、一般の文章の中に、詩を引用したり、紙面を節約したりするために用いられる。詩行符（⠄⠄⠄）を添えることで、詩行の変わり目を示し、行を替えずに追い込んで書き表すことができる。また、二重詩行符（⠄⠄⠄⠄）を添えて、連の変わり目を示すことができる。詩行符類の前は続け、後ろは二マスあける。

歌詞などは、書き出し位置をそろえたり、番号を一マス目から書いたりして、読みやすいよう工夫する。

（例1）

⠄⠄⠄⠄ ヤマノ⠄ アナタ

カール⠄ ブッセ

⠄⠄ ヤマノ⠄ アナタノ⠄ ソラ⠄ トオク

⠄⠄ ⠄サイワイ⠄⠄ ⠄スムト⠄ ヒトノ⠄ イウ⠄⠄

⠄⠄ アア⠄⠄ ⠄ワレ⠄ ヒトト⠄ トメユキテ⠄⠄

⠄⠄ ナミダ⠄ サシグミ⠄⠄ ⠄カエリキヌ⠄⠄

⠄⠄ ヤマノ⠄ アナタニ⠄ ナオ⠄ トオク

⠄⠄ ⠄サイワイ⠄⠄ ⠄スムト⠄ ヒトノ⠄ イウ⠄⠄

山のあなた

カール・ブッセ

山のあなたの空遠く

「幸」住むと人のいう。

噫、われひとと尋めゆきて、

涙さしぐみ、かえりきぬ。

山のあなたになお遠く

「幸」住むと人のいう。

(例2)

□□□□□カッパト□カエル

クサノ□シンペイ

□□ルンルン□ルンブ≡□□ルンブ□ルン≡□□

ツンツン□ツルンブ≡□□ツルンブ□ツルン≡≡□□

カッパノ□サラヲ□ツキ□スベリ≡≡□□ジャブジャブ□

ミズヲ□ジャブツカセ≡≡□□カオダケ□ダシテ≡≡□□

オドッテル≡

河童と蛙

草野心平

るんるん るるんぶ

るるんぶ るるん

つんつん つるんぶ

つるんぶ つるん

河童の皿を月すべり。

じゃぶじゃぶ水をじゃぶつかせ。

かおだけ出して。

踊ってる。

### 3 短歌・俳句など

短歌は、1行書きの場合、3マス目から書き始め、その行に書ききれない部分は次の行の一マス目から書くことを原則とする。上の句と下の句を2行に書き分ける場合には、上の句は3マス目から、下の句は5マス目からというように、行の書き出しに差をつける。3行書きの短歌は、1行ごとに行を改めて書き表す。

俳句や川柳は、3マス目または5マス目から書き始める。

短歌や俳句などの作者名は行末近くに書き表すことを原則とする。

詞書を書く場合は、書き出し位置に注意したり、囲みの符号を用いたりして、短歌・俳句との区別を明らかにする。

(短歌の例)

□ □ イシガケニ □ コドモ □ ⠠⠠ニ □ コシカケテ □  
□ □ □ フグヲ □ ツリオリ □ ユーヤケ □ コヤケ  
キタハラ □ ハクシュー

石崖に子ども七人腰かけて河豚を釣り居り夕焼け小焼け  
北原白秋

イシカワ □ タクボク  
□ □ ナガク □ ナガク □ ワスレシ □ トモニ □  
□ □ アウゴトキ  
□ □ ヨロコビヲ □ モテ □ ミズノ □ オト □ キク

石川啄木

長く長く忘れし友に  
会うごとき  
よるこびをもて水の音聴く

(俳句の例)

マサオカ □ シキ  
□ □ イクタビモ □ ユキノ □ フカサヲ □ タズネケリ

正岡子規

いくたびも雪の深さを尋ねけり

#### 4 脚本

人物名を3マス目から書き、その後ろに小見出し符類を付ける。または人物名の後ろを二マスあけてせりふを書く。せりふが2行以上にわたるときは、次の行は行頭から書く。せりふに第1カギをつける必要はない。また、人物名を行頭から書き、次の行からは3マス目から書く方法もある。人物名は繰り返し何回も出てくるので、頭文字などによる略称を用いるの

もよい。

情景の説明は、第1段落挿入符で囲んで書き表し、ト書きは、第1カッコで囲んで書き表す。

(例1) 第2小見出し符を使用した例

□□□□□□リヤオー□モノガタリ  
 □□□□ダイ☺☺☺マク□□リヤオーノ□キューデン  
 □□☺☺□アイズノ□ラッパガ□スイソー□サレル☺□□  
 リヤオーヲ□セントリーニ□☺☺☺ニンノ□ムスメ☺☺ゴナリル☺☺□  
 リーガン☺☺□コーディーリア☺☺☺□ソノタ☺☺□ジューシン□  
 ケントヲ□ハジメ□オオゼイノ□カシंगा□トージョー□  
 スル☺☺□☺☺☺  
 □□リヤオー☺☺☺□ミナノ□モノモ□シッテ□イル□トオリ☺☺□

【中略】

□□ゴナリル☺☺☺□ワタシワ□コトバデワ□イエナイホド□  
 オトーサマノ□コトヲ□オモッテ□イマス☺☺  
 □□コーディーリア☺☺☺□☺☺☺ドクハク☺☺□□ワタシワ□ナント□  
 イオー☺☺□□ココロカラ□オツカエ□シタイノダケト☺☺

(例2) 人物名を行頭から書いた例

リヤ□□☺☺チズヲ□サシナガラ☺☺□□ヨク□イッタ☺☺□□

【中略】

リーガン□□オヤニ□コーコー□スルノワ□コノ□タノシミ☺☺□  
 □□ソノ□タノシミ□イガイノ□モノワ□ミナ□ワタシノ□  
 □□テキデ□ゴザイマス☺☺  
 コーディ□□☺☺ドクハク☺☺□□コンドワ□ワタシノ□  
 □□バンダワ☺☺□□ワタシノ□キモチワ□コトバデワ□  
 □□イエナイ☺☺□□ソーダ☺☺□ワタシワ□ダマッテ□イヨー☺☺

リヤ王物語

第一幕 リヤ王の宮殿

合図のラッパが吹奏される。リヤ王を先頭に三人の娘（ゴナリル、リーガン、コーディーリア）、その他、重臣ケントをはじめ大勢の

家臣が登場する。

リヤ王：皆の者も知っているとおり、【中略】

ゴナリル：わたしは言葉では言えないほどお父様のことを思っています。

コーディーリア：(独白) わたしは何と言おう。心からお仕えしたいのだけれど。

リヤ王：(地図をさしながら) よく言った。【中略】

リーガン：親に孝行するのはこの楽しみ、その楽しみ以外のものはみなわたしの敵でございます。

コーディーリア：(独白) 今度はわたしの番だわ。わたしの気持ちは言葉では言えない。そうだ、わたしは黙っていよう。

## 5 手紙

点字の手紙は、あて名や日付、および発信人名などを前付けとして最初を書くのが一般的である。この場合、まず1行目の3マス目(または行頭)から相手の名前を書く。日付は、次の行に、相手の名前より4マス以上、下げて書く。自分の名前は3行目に書くのが普通であるが、日付と同じ行に書いても差し支えない。自分の名前は、行末に寄せるか、行末まで二マスくらいあくようにする。

また、墨字の手紙のように、あて名、日付、発信人名を手紙の後付けとして最後に書くこともある。その場合には、日付、発信人名、あて名というように書く順序が変わるので注意する。ICT機器を使って墨字の手紙を書くことを想定して、墨字の手紙の一般的な書き方の様式についても学習しておくことが望ましい。

内容の書き方は自由であるが、前文(時候の挨拶、相手の安否を尋ねるなど)、本文、末文(終わりの挨拶など)と分けられる場合には、それぞれ行を改めて書くとよい。

なお、手紙を折って封筒に入れる場合は、封筒の大きさに合わせて、☞ を1行入れると点を傷めずに折ることができる。例えば、18行両面書きでは、点字用紙の裏面の4・9・14行目に入れて四つ折りにするか、裏面の5・12行目に入れて三つ折りにするとよい。

点字の郵便物は、切手を貼らずに、その位置に墨字で「点字用郵便」と書き、右肩3分の1程度を開封にすると、無料で郵送することができる。



